調査：コープともしびボランティア振興財団助成

武庫川縦断ハイク⑦生瀬から仁川まで

第 23 回武庫川エコハイク
090214 エコグループ・武庫川

武庫川　全長 65km、流域面積 500km²、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の蓬川の西側が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなと）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

JR 生瀬駅　明治 32（1899）年阪鶴鉄道(現 JR 福知山線)開通とともに有馬口駅が設置され、有馬温泉への玄関口となり、後生瀬駅と改称された。名物駅弁「鮎寿司」は生瀬にあった淡路屋が売り出した。

生瀬宿　生瀬は有馬街道、篠山街道の分かれ道(追分)の宿場町として栄えた。今も妻入建築が残っている。浄橋寺の門前町でもあった。

浄橋寺　浄橋寺は鎌倉時代嘉禎 4 年(1238)善慧坊証空上人により創建された。創建伝承によれば、証空上人が有馬温泉に向かう途中賊に会われ、上人は賊を諭されて急流で橋のない武庫川に橋を架け、利用する旅人から通行料を取って生計を立てるように言われた。賊たちは改心し、ここに橋を架けた。上人はこの橋を「浄橋」と名づけられたと言う。

ウィルキンソンタンサン工場跡　生瀬橋の武庫川右岸側にウィルキンソンタンサン工場があった。明治 38 年(1905)英国人 J.C。ウィルソン氏が創立し、この地の炭酸泉を瓶詰めしてウィルキンソンタンサンとして販売していた。昭和 58 年(1983)工場休止し、平成 7 年(1995)建屋解体。

神戸市水管橋　千苅水源地の原水を上ヶ原浄水場(西宮市)まで二手に分かれて送水。

惣川合流　大峰山東側を源流とする惣川が合流する。

宝塚市水管橋と生瀬浄水場　宝塚市の浄水場のひとつ生瀬浄水場から武庫川右岸（長寿ガ丘、月見ガ丘方面）に上水を送水している。

見返り岩、丁字が滝　武庫川右岸側にある巨岩、県道を隔てて西側に丁字の滝がある。

千歳橋跡　個人が大正 10 年(1921)完成建造したモダンな橋であったが、昭和 20 年(1945)の洪水で流失した。

武庫川改修　武庫川の両岸に堤防ができたのは大正 9 年から昭和 3 年の改修工事による。

川面井堰　武庫川左岸地区への農業用水取水堰。かって宝来橋すぐ上流にあったが、平成 11 年(1999)新観光ダム建設時に撤去され、ダム湖からの取水となっている。

宝来橋　明治 35 年(1902)ごろ、初代宝来橋が架かる。その後何度かの洪水で流失、昭和 30 年(1955)の宝来橋で初めて車の通行が可能となった。現在のＳ字橋は平成 6 年(1994)完成、フランスの彫刻家マルタ・パン女史のデザインによる。橋の左岸側にパン氏の彫刻がある。

宝塚旧温泉　足利時代（16 世紀中頃）武庫川の河原に霊泉が湧くとの記録が残る。明治 19 年(1886)武庫川右岸で冷泉が発見され、宝塚温泉が開業。翌年 4 軒となる。明治 30 年（1897）阪鶴鉄道が開業とともに入党客が増える。明治 44 年(1911)旅館宿は 50 軒になる。

迎宝橋　明治 43 年（1910）2 番目の橋として架橋された。西宮街道から分かれ、新温泉に渡る橋。昭和 13 年(1938)、昭和 20 年(1945)洪水のため流失。迎宝橋の親柱は右岸に残る。

宝塚新温泉、宝塚大劇場　明治 43 年(1910)箕面電気軌道(現阪急京都線)、翌年左岸に宝塚新温泉開業、さらに翌年パラダイスが開業、現宝塚少女歌劇の始まり。大正 13 年(1924)宝塚大劇場完成、宝塚ルナパーク開業。

観光ダム　武庫川に水を貯め、観光客に潤いとやすらぎを提供するために、昭和 39 年(1964)完成、現在のものは平成 11 年（1999）に完成したもの。

宝塚大橋　昭和 8 年（1933）完成、自動車の渡れる初めての橋。昭和 53 年 1978)架け替え。

サンピオラ(宝塚南口駅前再開発)　昭和 49 年(1974)市街地再開発の先駆ともなったが、その後、類似施設が多く出現し経営が悪化して現在改築の計画が進んでいる。

伊子志（いそし）井堰　良元村の農業用水で現在は上水道の取水堰にもなっている。

中州　右岸側逆瀬川の合流点を造成し、昭和 4 年(1929)中州楽園(温泉付き住宅地)が販売開始、翌年東洋一のダンスホール宝塚会館、中州温泉が開業。現在は住宅地となる。

逆瀬川合流　大平山南側を源流とし、六甲山系の土砂を流出したので明治 30 年（1897）から大規模な山腹砂防工事、下流については昭和 3 年（1928）から砂防河川工事がされた。

伊子志の渡し跡　中山寺から小浜宿を通り、西宮に至る街道にある武庫川の渡しで、18 世紀の記録に残る。大正 8 年（1919）洪水で舟が流されるまで続いていた。

床止(帯工)　河床の流失防止、可動の安定のために設けられている。帯工は落差が無い。

宝塚新大橋　昭和 35 年(1960)完成、宝塚市役所の横に架かる。

昆陽（こや）井堰　伊丹市の農業用水、上水の取水堰。

武庫川新橋　平成 6 年(1994)完成、宝塚新大橋と甲武橋（国道 171 号線）との間が 4.3km あり、その中間に設けられた。

百間樋井堰　大市庄の灌漑用水として 16 世紀中頃に築造されたといわれる。仁川の下 100 間(約 180m)に当初は木製樋を埋めて送水していたが、大正 9 年（1920）コンクリート製に変えられた。百間樋公園南側で吐き出される。現在は南部の農業用水、上水に使用される。

六樋井堰　尼崎の農業用水取水堰、昭和 3 年(1928)もと野間井など 6 個の井堰を合併し六樋とした。武庫川から伏流水を取水している。

天王寺川合流　長尾山系を源流とする天王寺川が合流する。上流で天神川が合流する。

8 号床止(落差工)　下流から 8 番目の落差工の床止。魚道が中央部にある。

川西川合流　伊子志井堰からの灌漑用水と逆瀬川上流からの良元用水が川西川に排水。

仁川合流　仁川は六甲山石の宝殿近くに源流を持ち、社家郷山から甲山の北を通り、仁川渓谷を抜けて武庫川に合流する。全長 9.9km。

百間樋公園　仁川右岸にある公園の地下を百間樋が通る。南側に放流口がある。

小仁川　宝塚ゴルフ場に源流を持ち、途中に弁天池がある。天井川の景観が見える。

阪神競馬場　戦前あった鳴尾競馬場が第 2 次大戦中閉鎖されていたが昭和 24 年(1949)、現在の地で阪神競馬場として開設された。平成 7 年（1995）阪神大震災で被災し、平成 9 年改修が完了し、現在の姿になった。

（「語り部ノートにしのみや」、「宝塚市大事典」、「尼崎地域史事典」より）